

II システム開発要求仕様

この章では、訓練計画システムの開発を行う際の要求仕様について説明する。

訓練計画システムの開発要求仕様

- ・名称：訓練計画システム S c h e d u l e

- ・機能： 職業能力開発施設における各年度ごとの訓練内容や行事・祝日・休日といった情報を登録する。そして、それをもとに年間訓練計画・月間訓練計画・週間訓練計画という3種類の帳票を画面に表示する。また、同一内容をプリンタに印刷する。帳票イメージについては、図 I - 1 から図 I - 5 に示す。このように、年度当たり、年間訓練計画については1枚、月間訓練計画については最大12枚、週間訓練計画については53枚～54枚の帳票が可能である。

もし、同一日に、訓練内容が二つ以上重なった場合には、環境が許す限り、なるべく複数の訓練内容を同時に表示するようにする。しかし、やむをえないときは、代表する訓練内容を一つだけ表示する。

また、休日や祝日は、それとわかるように例えば斜線を引いて表示する。そして、国民の祝日が日曜日に相当するとき、翌日は振替休日になるという機能をサポートする。更に、2000年問題もあらかじめ考慮に入れ、回避をはかる。

- ・動作環境：特殊な環境ではなく、ごく一般的な環境をもつパソコン上でシステムが動作するようにする。

Windows95の上で動作することが望ましい。

- ・開発言語：ユーザが多い言語が望ましい。

構造化プログラミングあるいはオブジェクト思考プログラミングが可能な言語が望ましい。